

〈八月の言葉〉

越智直正 著 「靴下バカ一代」より

「人格にふさわしいもの」

音楽家や絵描きが
自分の思いを形にしたら
楽譜や絵になる。

靴下には靴下屋の心や精神が現れるんだ。
靴下だと思ふな、自分自身だと思え。
いい靴下を作りたければ、
人間を磨け。
人格にふさわしい商品しかつukれない。